

みやぎご当地トピック



チーフの高橋愛さん

石巻市

牡鹿半島 ビジターセンター

牡鹿半島ビジターセンターを運営する一般社団法人鮎川まちづくり協会でチーフを務める高橋愛さんにお話を伺いました。



石巻市

牡鹿半島エリアの自然の恵みや人々の暮らしを紹介

2019年10月にオープンした牡鹿半島ビジターセンターは、豊かな自然に包まれた三陸復興国立公園の南端に位置し、金華山や網地島、田代島を含む牡鹿半島エリアの自然の恵みや、自然と共に生きる人々の暮らしをわかりやすく紹介しています。

館内では、四季折々に違った表情を見せる牡鹿半島の魅力をはじめ、個性豊かな企画展やクラフト体験、各種セミナーなど、さまざまな催しを開催しており、訪れるたびに新しい発見があります。牡鹿半島周辺の海・川・森に棲む生き物を展示しているほか、展示や解説を通して自然から生き物同士のつながりを学ぶことができます。

牡鹿半島の観光拠点である「ホエールタウンおしか」の一角にある牡鹿半島ビジターセンターは、「観光物産交流施設Cottu（こつっ）」や「おしかホエールランド」とも隣接し、交流や学び、グルメなど、牡鹿半島でしか体感できない出会いがたくさん詰まっています。家族連れやグループで、ぜひ気軽に足を運んでみませんか。



センターの外観



“わたし”のおしかコレクション 牡鹿半島の地形模型

牡鹿半島ビジターセンター

住所 宮城県石巻市鮎川浜南50-1

TEL 0225-24-6912

開館時間 9:00~16:30

休館日 水曜日、年末年始 他（詳細はHPで）

入館料 無料

女川原子力発電所/ 親子見学会

女川原子力発電所や関連施設への
親子での見学会



日時・集合場所	8月8日(土)7:45~17:00 ①宮城県庁玄関前 …… 7時45分集合 ②石巻合同庁舎 …… 9時10分集合
定員・費用	先着25名 / 参加無料(昼食については参加者負担)
対象	宮城県内在住の小学生及び中学生とその保護者(未就学児は不可) ※なお、昨年度と同内容であるため、初めての参加者を優先します。
申し込み方法	7月1日(水)から7月17日(金)までに みやぎ電子申請サービス(LOGOフォーム)にてお申し込みください。

原子力安全対策課 gentaia@pref.miyagi.lg.jp ☎022(211)2607

その他の詳細についてはQRコードからHPをご覧ください。

お申し込みはこちら



女川原子力発電所運転状況のお知らせ

1号機

廃止措置中

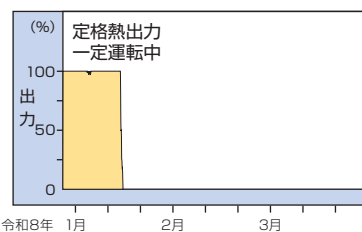
- ◎燃料搬出作業
- ◎汚染状況調査等

2号機

電気出力
825,000kW

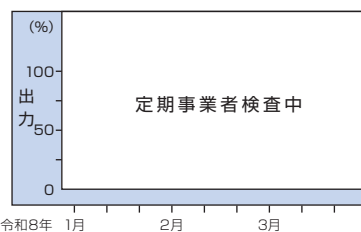
- ◎1/1 20:13~1/6 7:00 潮位低下に伴う発電機出力抑制
- ◎1/14 1:00 発電停止

第12回定期事業者検査



3号機

電気出力
825,000kW



原子力だよりみやぎへのご意見ご感想がありましたら、こちらまでお寄せください。

TEL.022-211-2607 FAX.022-211-2695

E-mail:gentai@pref.miyagi.lg.jp

この広報誌は86,000部作成し1部あたりの単価は約11円となっています。



原子力だよりみやぎ

宮城県復興・危機管理部原子力安全対策課
仙台市青葉区本町三丁目8番1号
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/

原子力だより

みやぎ

夏号

VOL.173
SUMMER
2026



撮影地:石巻市鮎川浜「牡鹿半島ビジターセンター」の館内

02. 令和7年度開催事業のご紹介！

今回は、昨年度開催した「原子力発電に関するセミナー・ナノテラス見学会」及び「女川原子力発電所親子見学会」について紹介します。

04. 女川原子力発電所周辺の環境放射能調査結果 環境への影響は認められませんでした

06. 女川原子力発電所周辺の温排水調査結果 環境への影響は認められませんでした

08. みやぎご当地トピック

宮城県

令和 7 年度開催事業のご紹介！



原子力や放射線について、
わかりやすく学べる機会はないかな？

県では、セミナーや見学会を開催しているよ！
詳しく紹介するね！



原子力発電に関するセミナー・ナノテラス見学会

県では、原子力や放射線について理解を深めていただくため、『原子力発電に関するセミナー・ナノテラス見学会』を開催しました。

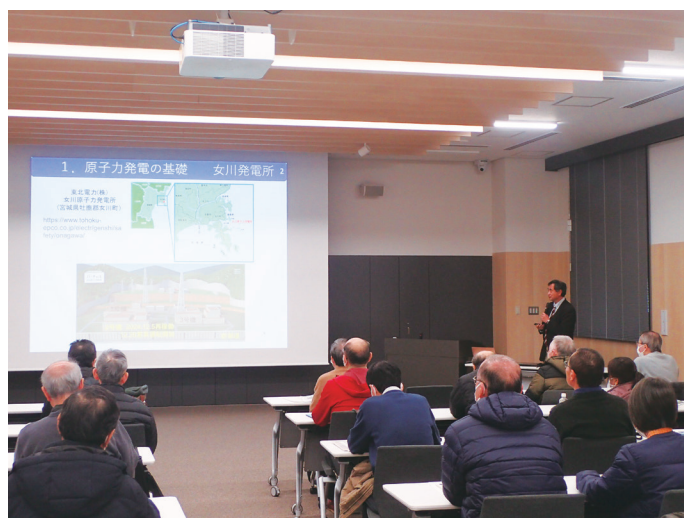
当日は、県内各地から多くの方にご参加いただき、専門家による講演と、次世代放射光施設『ナノテラス』*の見学を行いました。

セミナーでは、原子力工学の専門家であり、中でも核燃料サイクルについて特に知見を有する東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター特任教授の出光一哉先生に原子力発電の基礎知識をはじめ、原子力発電所の安全対策や一度使い終わった燃料を再利用する取り組み（核燃料サイクル）などについて、わかりやすく説明いただきました。参加者からは「原子力発電の基礎についてとても理解しやすかった」「最先端の研究施設を見ることができて貴重な体験だった」といった声が寄せられました。

見学会では、ナノテラスの研究設備や実験装置を間近に見ながら、研究者から直接説明を受けることができ、最先端の科学技術に触れる貴重な機会となりました。

なお、令和8年度も同様のセミナー・見学会の開催を予定しています。詳細が決まり次第、県ホームページ等でお知らせしますので、ぜひご参加ください。

※東北大学青葉山キャンパスにある、1メートルの10億分の1というナノの世界を観察することができる世界最高水準の先端大型研究施設



東北大学構内でセミナーを実施した様子



ナノテラス内で説明を聞いている様子

過去に開催したセミナーの
詳細はこちら



今回は、昨年度開催した「原子力発電に関するセミナー・ナノテラス見学会」及び「女川原子力発電所親子見学会」について紹介します。

女川原子力発電所親子見学会

夏休み期間中、親子を対象とした『女川原子力発電所親子見学会』を実施しました。

子どもたちが楽しみながら原子力発電やエネルギーについて学べるよう、体験型のプログラムを中心に実施しました。

見学会では、PRセンター内において原子力発電所の縮小模型の見学や発電の仕組みの体験を行い、親子で理解を深めていただきました。

その後、職員による原子力発電所の仕組みや安全対策に関する説明を受け、実際の設備を見学しました。普段は立ち入ることのできない施設を見学できる貴重な機会となり、参加した子どもたちは関心を持って見学していました。

参加者からは「子どもがエネルギーに興味を持つきっかけになった」「原子力発電所の安全対策がよく分かった」といった感想が寄せられました。

本事業については、今年度も開催を予定しています。詳細は裏表紙をご覧ください。



PRセンターにて電力職員から説明を受ける様子



新規規制基準に適合した防潮堤など女川原子力発電所の全景
(バスに乗りして見学)【東北電力提供】



PRセンターにて発電の仕組みについて説明を受ける様子

女川原子力発電所親子見学会
- みやぎ原子力情報ステーション
詳細はこちら



おわりに

県では、今後も県民の皆さまに原子力や放射線について理解を深めていただけるよう、見学会やセミナーなどの学習機会を継続して提供していきます。

開催情報は、県のホームページや広報紙でお知らせしますので、ぜひご覧ください。

女川原子力発電所周辺の 環境放射能調査結果

令和8年1月～

令和8年3月

今期の環境放射能調査結果を評価したところ、女川原子力発電所に起因する環境への影響は認められませんでした。

1 放射線の強さ（空間ガンマ線量率）

今期の調査結果では、下図のように東京電力（株）福島第一原子力発電所事故前における測定値の範囲内でした。

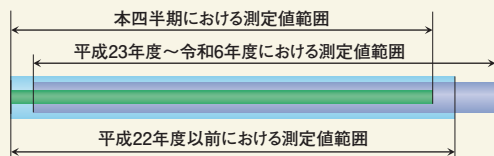
モニタリングステーション、モニタリングポイント及び放水口モニター設置地点



- モニタリングステーション
- 宮城県……………(7)
 - ◆宮城県(広域)……………(10)
 - 東北電力……………(4)
- 放水口モニター
- ▲東北電力……………(3)
- モニタリングポイント
- 宮城県……………(12)
 - 東北電力……………(9)

「◆宮城県(広域)」の10局は、女川原子力発電所から10～30kmの範囲で県が平成25年度から測定を開始したモニタリングステーションです。モニタリングステーションには、放射線を測定する精密機器や、気象を観測する風向風速計などの測定器を設置しています。

グラフの見方



令和8年1月～3月の測定結果

モニタリングステーション	20	40	60	80	100	120	140	160	ナノグレイ/時	広域モニタリングステーション	20	40	60	80	100	120	140	160	ナノグレイ/時
●女川										◆石巻稲井									
●飯子浜※1										◆雄勝									
●小屋取										◆河南									
●寄磯										◆河北									
●鮫浦※1										◆北上									
●谷川※1										◆鳴瀬									
●荻浜※1										◆南郷									
●塚浜										◆涌谷									
●寺間										◆津山									
●江島										◆志津川									
●前網																			

※1：令和元年度から運用開始

用語説明

【ナノグレイ(nGy)】放射線に関する単位で、「物質や組織が放射線のエネルギーをどのくらい吸収したかを表す吸収線量の単位」をグレイ(Gy)といいます。ナノグレイ(nGy)は、その10億分の1を表します。

【ベクレル(Bq)】放射能を表す単位で、1ベクレルとは「1秒間に1個の原子が壊れ、放射線を放出すること」を表します。

2 環境試料中の放射能濃度

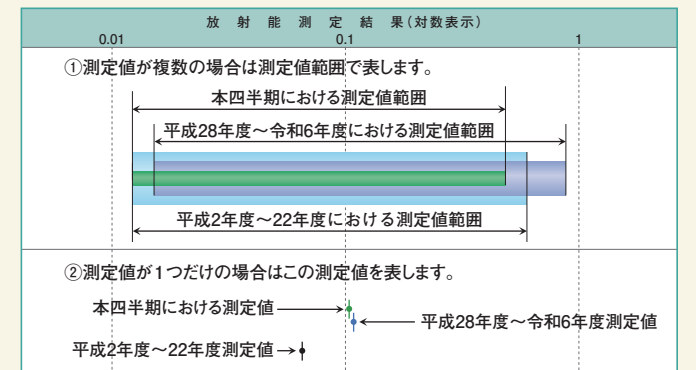
今期の環境試料中の放射能濃度の調査結果は、東京電力（株）福島第一原子力発電所事故前の測定値の範囲を超過する試料がありましたが、事故前の測定値の範囲内まで低減している試料もあり、放射能濃度は減少傾向が見られています。なお、その超過した原因は女川原子力発電所の運転状況等から、福島第一原子力発電所事故によるものと考えられます。

令和8年1月～3月の測定結果

種別	試料名(試料数)	採取月	核種	放射能測定結果(対数表示)	福島第一原子力発電所事故後5年間の最大値	単位
降下物(月間)	雨水・ちり(9)	1,2,3※2	Cs-137		9,248	Bq/m ³
降下物(四半期間)	雨水・ちり(5)	1～3※3	Cs-137		8,438	Bq/m ³
陸水	水道原水(3)	1,3	Cs-137		282	mBq/L
指標植物	松葉(1)	2	Cs-137		1,476	Bq/kg生
魚介類	マガキ(1)	1	Cs-137		1.13	Bq/kg生
海水	表層水(1)	1	Sr-90		3.6	mBq/L
海底土	表層土(砂)(2)	1	Cs-137		299	Bq/kg乾土
指標海産物	エゾノネジモク(2)	2	Sr-90		—	Bq/kg生
	ムラサキガイ(1)	1	Cs-137		0.54	Bq/kg生

※2：1、2、3月の1ヶ月ごとに採取した結果 ※3：1～3月の3ヶ月間継続して採取した結果

グラフの見方



令和8年1月～3月の調査で 放射性核種が検出されなかった試料とその放射性核種名

試料名	放射性核種※4
水道原水、海水	H-3
マガキ	Sr-90
浮遊じん、海水、エゾノネジモク	Cs-137
海水、エゾノネジモク	I-131

※4：放射性核種／H-3…トリチウム Sr-90…ストロンチウム90
Cs-137…セシウム137 I-131…ヨウ素131

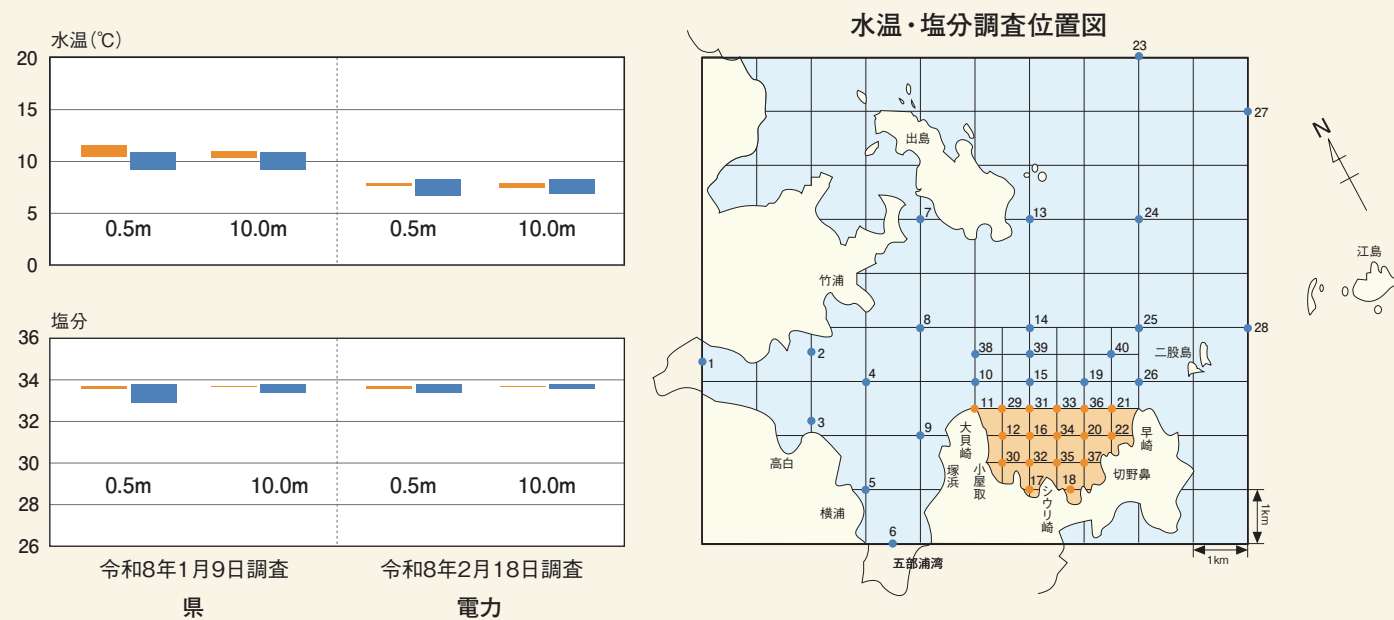
女川原子力発電所周辺の 温排水調査結果

令和8年1月～
令和8年3月

今期の調査の結果、女川原子力発電所周辺において温排水によると考えられる異常な値は、観測されませんでした。

1 水温・塩分調査

今期の調査結果から、温排水によると考えられる異常な値は、観測されませんでした。



前面海域 周辺海域

注1 前面海域とは大貝崎と早崎を結ぶ線の内側（調査点11,12,16,17,18,20,21,22,29-37）をいいます。

注2 0.5m、10.0mは、調査水深を表しています。

用語説明

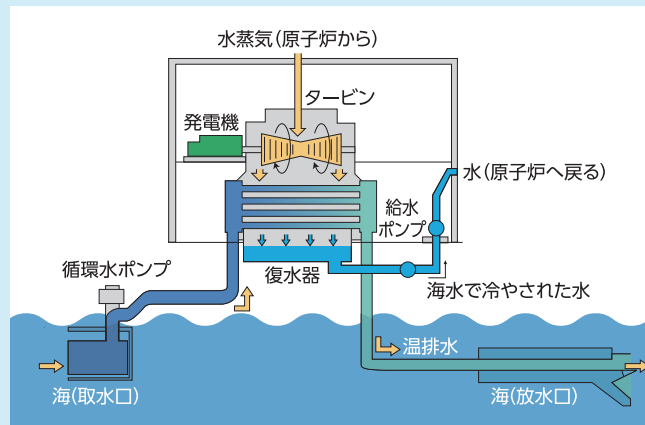
温排水

原子力発電所や火力発電所が稼働中の場合、蒸気力でタービンを回して電気を作っています。

タービンを回した後の蒸気は、海水で冷やされて水に戻ります。この蒸気を冷やした後の海水は、取水した時の温度より少し上昇して海に戻ります。これを「温排水」と呼んでいます。

温排水は、自然の海水温度よりわずかに温度が高くなっていますが、周辺の海水と混ざり合って、温度を下げながら拡散し、自然の海水温度に戻ります。

女川原子力発電所では、温排水が発電所の前面海域及び周辺海域へ与える影響を把握するため、発電所の前面海域及び周辺海域の43調査点で、定期的に調査を行っています。



2 水温連続モニタリングによる水温調査

今期の調査結果から、温排水によると考えられる異常な値は、観測されませんでした。

(イ) 水温測定範囲

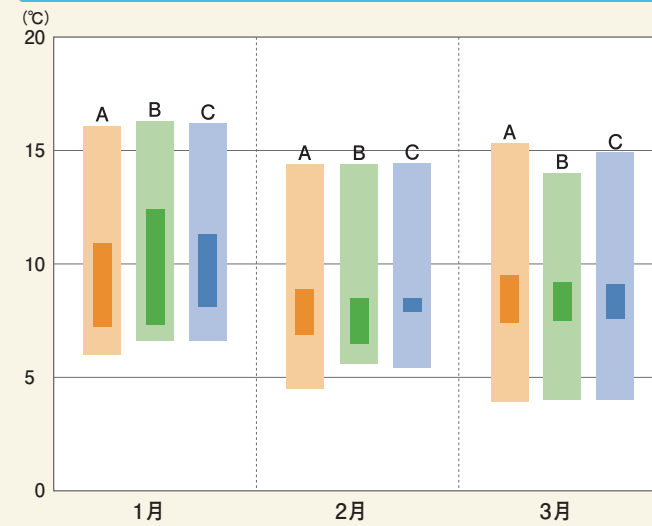
グラフの見方

水温連続モニタリングにより海水温を測定しています。



●A:女川湾沿岸(St.1～5,11) 県調査地点
★B:前面海域(St.6,8,9,12,14) 東北電力調査地点
★C:湾中央(St.7) 東北電力調査地点
★陸域放流前(St.10,13,15) 東北電力調査地点

令和8年1月～3月



(ロ) 測定点間の水温較差

令和8年1月～3月

